

令和4年度 芦屋市自立支援協議会 専門部会について

1. 令和4年度専門部会の取組内容

昨年度の自立支援協議会実務者会では、座談会で広く地域課題の抽出を行った。その中で、どの会においても課題として上がっていた『居場所について』を今年度の専門部会のテーマとした。

2. 令和4年度専門部会の開催状況

	日時	場所	内容
第1回	令和4年 5月31日	芦屋市保健 福祉センター	・自立支援協議会の説明、昨年度実務者会報告 ・今年度のスケジュール共有 ・居場所について意見交換、具体案の検討
第2回	令和4年 6月28日	木口記念会 館	・居場所実施までのスケジュール共有 ・「つむぐ広場」具体案の決定 ・当日までの役割分担、作業
9月27日 第1回つむぐ広場(保健福祉センター)			
9月30日 第2回つむぐ広場(ホザナカフェ)			
第3回	令和4年 10月19日	芦屋市保健 福祉センター	・第1・2回つむぐ広場の評価、課題抽出 ・アンケート内容からニーズ把握
第4回	令和4年 11月頃	未定	・課題やニーズを踏まえ、第3回の実施案や今後の取組みを検討
12月頃 第3回つむぐ広場(場所未定)			
第5回	令和5年 1月頃	未定	・第3回つむぐ広場の振り返り、評価
第6回	令和5年 3月頃	未定	・今年度専門部会の振り返り、まとめ

3. 第2回終了時点での進捗状況

今年度は当事者家族や居場所事業を行う職員等を構成員に迎えた。昨年度実務者会のヒアリングで把握したニーズを参考として、居場所の必要条件を検討し、居場所づくりプロジェクトと称して9月下旬につむぐ広場を2度開催した。時間帯は、通所・通勤後に通える夕方としたところ、参加者は定員に達し盛況な会となった。27日は親子で楽しめるプログラム、30日は喫茶や茶話会を中心として、どちらも参加者の交流の場や親同士の情報交換の場となることを目的とした。今後は、参加者の意見やニーズをもとに、居場所についての評価・検討を行う予定。

令和4年度 専門部会構成員

構成員	No	所属	名前	正副
	1	芦屋市手をつなぐ育成会	永田 顕子	正
	2	社会福祉法人三田谷治療教育院 芦屋翠ホーム	山中 勇樹	副
	3	芦屋市身体障害児者父母の会	上野 康子	
	4	芦屋家族会 (芦屋市障がい団体連合会)	齋藤 登	
	5	あしや放デイ地域の会	朝井 美紀	
	6	NPO法人芦屋市障がい児・者福祉会 芦屋市立みどり地域生活支援センター	奥谷 憲二郎	
	7	社会福祉法人 山の子会 障がい者グループホーム咲楽	瀧中 賢一	
	8	NPO法人ホザナ・ハウス ホザナ・カフェ	中村 恵大	
	9	社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 地域福祉係	宮平 太	
	10	芦屋市就労準備支援事業 (社会福祉法人三田谷治療教育院)	佐藤 久愛	
	11	障がい者相談支援事業 (社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会)	安藤 千枝子	
	12	障がい者相談支援事業 (社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会)	津田 美穂	
オブザーバー (実務者会)	芦屋市身体障害児者父母の会 (芦屋市障がい団体連合会)	能瀬 仁美		

事務局	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	三芳 学
	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	笠井 光子
	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	森 香南
	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	佐野 敬
	芦屋市 福祉部 障がい福祉課	長谷 啓弘
	芦屋市 福祉部 障がい福祉課	田中 芹奈